

バーティシリウム萎凋病に強い 春系キャベツ『(仮称)YR清美』の 品種特性と栽培のポイント

雪印種苗(株)
千葉研究農場 佐々木 則雄

1.はじめに

キャベツは西日本を中心としたお好み焼きの原料としての需要が膨大で、東日本でも同様に洋食、和食の原料としてなくてはならない重要野菜の一角を占め、周年供給されています。特に、春系キャベツは、葉質やわらかで、食味良好な生食用品種で、東日本での需要が高いタイプです。

一方、夏秋キャベツの産地では、近年、「バーティシリウム萎凋病」の発生が、寒高地を中心に確認され始めました。従来は、土壤病害といえばネコブ病が主体でしたが、新病害として本病害の対策が必要となっていました。

今回はこの新しい病害「バーティシリウム萎凋病」に高度抵抗性を持つ春系品種『YR清美』（試作系統名98026YR）についてご紹介いたします。

2.バーティシリウム萎凋病とは

「バーティシリウム萎凋病」は寒高地の8月～9月収穫の作型を中心に発生が多くみられます。

寄主作物の範囲が広く、アブラナ科、キク科、ナス科、ウリ科、バラ科、アカザ科、豆科などにも寄主範囲を広げているのが特徴で地上部の症状は、黒腐れ病とよく似た症状となります。また、本病害は、土壤伝染するため、トラクター等の管理機の未洗浄は、病原菌の土壤汚染を進行させる原因になると思われます。

本病害は土壤菌のため圃場寄主作物は次の通りです。

葉菜類 キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー

根菜類 ダイコン、パレイショ、ゴボウ

果菜類 トマト、ナス、ピーマン、メロン、オクラ、スイカ、エダマメ、イチゴ

その他 ウド、ホウレンソウ、フキ、春菊、ラッカセイ、ダイズ、アズキ

等多岐にわたって確認されています。

3.『YR清美』の品種特性

1) 生育

- 定植後55日前後で収穫に達する早生種。耐暑性に優れ、特に高温期に係る作型で旺盛に生育し、早生化し、球の肥大が良好となります。
- 外葉はやや濃緑でやや長く、草姿は生育前半は立性で、球の肥大に伴い後半はやや開張性となります。

2) 品質

- 球はやや正円の扁平球で締りよく、球内色は鮮やかな黄色で芯はやや短い方です。球色はワックスが少ないやや濃緑色で、高品質に仕上がります。



写真1. バーティシリウム萎凋病の症状



写真2.
バーティシリウム萎凋病菌は土壤中より維管束に進入する



写真3. 早生で球の肥大が優れる



写真4. 鮮やかな球内色で葉質がやわらかい春系タイプ

- ・食味は春系らしく青臭み少ないやわらかな葉質で、食味に優れます。気温が下がるにつれ、甘味が特にのりやすい特性があり、一段と美味になります。

3) 生理障害

- ・「スス症（スミ症）」は市販品種の中でも強いクラスに入ります。

4) 耐病性

- ・バーティシリウム萎凋病に対して、市販品種の中では強いクラスになり、高度抵抗性を有します。
- ・イオウ病はAタイプ抵抗性なので、高温期でも罹病しません。
- ・軟腐病の発生は少ない方です。
- ・黒腐れ病、黒斑細菌病、株腐れ病

に対しては、市販品種の中でも強いクラスに入りますが、肥効が切ると発病しやすくなるので注意してください。

- ・菌核病は防除基準に従って、定期的な薬剤散布を行って下さい。

・気温低下する生育後半も順調に肥大しますが、無理な遅まきは肥大不足につながります。

- ・育苗時の夕方灌水は、胚軸の徒長やべと病を誘発するので控えて下さい。苗のしおれが激しいときはその部分だけ軽く灌水して下さい。

5. 栽培上の注意点

- ・早生品種のため裂球は幾分早くなります。注意して計画的に播種・収穫を行って下さい（早生系の市販品種の中では遅い部類に入ります）。
- ・一般地の早春まきは、結球が乱れ尖り玉になりやすいので無理な栽培は控えて下さい。

6. むすび

今回紹介しました『YR清美』は、バーティシリウム萎凋病に対して高度の抵抗性を有する、初めての春系キャベツとして今後の普及が見込まれています。上記の特性を理解して、良品生産をお願いします。

4. 作型



写真5. 初期は立性で管理が容易



写真6. 一般地での栽培風景